



第8号  
(発行所)

真宗大谷派  
松岡山 廣讚寺

中村区城屋敷町3-30  
TEL (052) 411-5301  
FAX (052) 411-5341

「御遠忌お待ち受け法要」

皆々様の信の一念の結集としての御遠忌法要が十一月一日から三日、ここに大円成したことを喜びたいと思います。

尊い志納をしていただいた方々は三百名の方々。私達廣讚寺委員会に勇氣と誓願不可思議を示して下されたことと深く頭を下げるものであります。

関係法中の方々・樂僧・助音方をはじめ御世話になった各作業の方々に感謝の意を表するものです。

聖人の念仏の精神は世界人類の求めてやまぬものだと思います。今こそ我々は自信をもって親鸞聖人の思想を全世界に問うべきだと思考する。



## 聖人のおことば (有念無念事)

「コノ信心ヲウルコトハ釋迦・弥陀十方諸佛ノ御方便ヨリタマハリタルトシルベシ。シカレバ諸佛ノ御オシヘヲソシルコトナシ。餘ノ善根ヲ行ズル人ヲソシルコトナシ。コノ念佛スル人ヲニクミソシル人ヲモニクミソシルコトアルベカラズ。アハレミヲナシ。カナシムココロヲモツベシトコソ聖人ハオホセコトアリシガ。アナカシコ」

関東の弟子達は農作業によつて荒んだ両手を合せ聖人からの消息をくり返へし、声をあげて讀んだにちがいない。それはいつのまにか聖人の声となつて弟子達の心にとどいたのであらう。

戦後六十年の今、イスラエル・パレスチナの戦火

は一向に終る気配

はない。イスラム

の神に、ユダヤの

ヤーヴェにと何れ

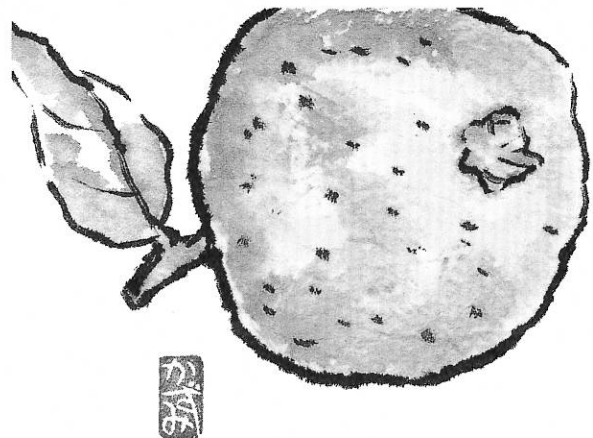
もが我が身の宗教

をよりどころにし

ているのが淋しい

事である。

戦後六十年、超大国・米国の一極支配はこの国をして朝鮮戦争、ベトナム戦争、イラクからアフガンと戦争をつづけて来た。その白人支配のアメリカに黒人大統領の出現したのはアメリカの威大さであると同時に世界の新しい出発点に立つ時がきたのだと思ふ。



## お宮さんの犬

稲葉地最後の草屋が二軒並んで風流な景色を見せていたが、その一軒が最近とりこわされた。この家の垣根の繁みから母親犬がでてくるのを見た。汚れた体をして乳房のいくつもがたれ下がって気の毒そうであった。

「仔犬を育てているんですね」

と、近くのIさんにはなしかける。Iさんはこの犬については大先輩。次のような人間と犬のあたたかい関係を知らされて楽しかった。

「娘がね犬が好きなんだわ。まだ目もみえない仔犬たちをつれてくるのだわ」

「どうしてそんなのがつかまるの」

「母親の留守にそつと行って母親の臭いのするボロ切れでもむしろでもなんでもいーの、来いよ〜<〜>っていうガサガサしてやると母親が来たと思ってみんなでてくるの」

「へえ そうしたものかね」

「それからが大変よ。先回も八匹もいたの。それにミルクをのますの」

「母親がかなしまないかね」

「二、三日うちのまわりをうろうろするけど、それからもう来ないの。安心するんでしょネ」

母親の臭いのするものであれば目もあかぬ耳もきこえぬ仔犬が廢屋の暗闇の奥からでてくるということを知らされておそろしくなった。

母親の子育てする本能と母親

しかたよるもののない仔犬たち

の本能のすさまじさを知った。

愛情の根元にふれる思いがした。

静かに一人で「かあちゃん」

といってみた。

